

# 令和4年度 社会福祉法人修倫会事業報告

## I 基本理念

社会福祉法人修倫会は地域と共に、地域福祉のセーフティネットを構成する社会資源として、障がい者支援の役割を担い信頼される法人をめざします。

## II 基本方針

「利用者の自己選択」「就労支援の強化」「地域生活支援」をキーワードに、以下の3点を基本方針とする。

- (1) 利用者の人権を尊重し満足度の高い福祉サービスに努める。
- (2) 各事業所及び職員の連携を強化し、社会資源やネットワークの活用に努める。
- (3) 職員は、支援者としての役割を自覚し専門性の向上に努める。

## III 経営事業

この社会福祉法人は、多様な福祉サービスその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ心身ともに健やかに育成され、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として次の事業を行った。

### ○第二種社会福祉事業

#### (1) 障害福祉サービス事業

就労継続支援B型（定員40名）「松柏園」

就労継続支援B型（定員40名）・共同生活援助（定員22名）「みずき園」

就労継続支援B型（定員20名）「あすリード本舗」

#### (2) 一般相談支援事業

地域移行支援・地域定着支援「チャレンジドセンター久慈相談支援事業所」

#### (3) 特定相談支援事業

特定相談支援事業「チャレンジドセンター久慈相談支援事業所」

#### (4) 障害児相談支援事業

障害児相談支援事業「チャレンジドセンター久慈相談支援事業所」

#### (5) 障害者就業・生活支援センター事業〈生活支援等事業〉

「久慈地区チャレンジド就業・生活支援センター」

### ○公益事業

#### (1) 障害者就業・生活支援センター事業〈雇用安定等事業〉

「久慈地区チャレンジド就業・生活支援センター」

## IV 令和4年度重点項目

法人が経営する「松柏園」、「みずき園」、「あすリード本舗」、「チャレンジドセンター久慈」の4事業所が相互に連携し協働のもと、激変する経営環境を見極めながら、次の項目に取り組んだ。

### (1) 経営基盤の強化

事業経営の中心となる就労継続支援B型事業の利用者増に向け、地域の利用希望者

ニーズを探り、その受け入れを積極的に図った結果、新規利用者4名を受け入れた。一方で退所者が4名あり、年間を通した利用者数は増減がなかった。B型3事業所の利用定員100名に対し、今年度末の利用契約者数は101名である。

久慈地域における就労系事業所の動向は、A型事業所1か所、A型B型併設事業所1か所、B型事業所10か所と事業所数が増加しており、当法人B型事業所の利用希望者は減少傾向にある。

地域が競合状態にあるため、新規利用者の獲得に向けて特別支援学校在校生の実習受け入れを可能な限り行ったが、卒業年度である3年生の希望が少なく、次年度の受け入れにはつながらなかった。

#### (2) 人材の確保・育成と人事管理制度の見直し

職員の定着を図るため処遇改善加算の取得を継続し、定期昇給と賞与の一部に反映させ処遇改善に努めた。また、令和4年2月創設の交付金を活用した基本給のベースアップについて、令和4年10月からは交付金から移行したベースアップ加算を取得し、ベースアップ後の賃金水準を維持した。

人材確保では、前年度末で定年退職した職員1名を準職員として再雇用し、経験や技術を持った職員の確保に努めた。職員採用については、定年年齢到達前後の職員が一定数おり、再雇用希望職員の意向を見定めながら新規採用を検討する必要があるため、有期契約職員の補充採用に留める対応となった。

#### (3) 持続可能な事業運営

管理職層で構成する経営会議を毎月開催し、月次試算表等の分析評価等を踏まえて、事業運営の効率化と法人経営の安定化に努めた。

新型コロナウイルス感染症に伴う利用料収入減や物価高騰、人件費の上昇等、厳しい経営環境が続く中、感染症蔓延防止対策の徹底とサービス提供継続の努力、人員配置の効率化、仕入れ原価の上昇を踏まえた就労支援事業商品価格の値上げ等の経営努力を重ねた結果、事業活動収支は若干の黒字となり、前年度と同水準の決算となった。

収益面では、障害福祉サービス等事業収益は、あすリード本舗の就労移行支援体制加算取得等で増収し、前年比6,118千円増となった。就労支援事業収益は、松柏園の営業努力により売り上げが増加し、前年比1,835千円増となった。

費用面では、事業費と就労支援事業費用が増加しており、給食費、水道光熱費、燃料費、原材料費の価格上昇と車輛整備費の増加、突発的な修繕や備品購入費の発生が見られた。

今後は、感染症等の影響を最小限に抑えつつ、いかに事業収益を確保していくかの対策と、地域の利用ニーズに沿った魅力あるサービス提供を目指して、事業の見直しを含めた中期法人経営計画を立案し実践することが課題である。

#### (4) 新型コロナウイルス感染症の対応

法人が策定する「新型コロナウイルス感染防止対策取組方針」に沿い、全事業所が連携して感染予防に努めた。基本的な感染予防対策の他、施設内への入館制限と外出制限を継続し、行事についても外出時の条件を設けながら実施した。

感染者や濃厚接触者の発生時には、同居家族の場合を含めて自宅待機措置を徹底するとともに、施設内感染が疑われる場合は、施設全体あるいは部分的に休業措置をとるなど蔓延防止に努めた。

7月から9月の感染拡大期には感染者及び濃厚接触者が常態化し、職員が不足する中でサービス提供を継続しなければならない状況が続いたが、提供するサービスや作

業の優先順位を付け対応した。また、11月にはグループホーム1か所で利用者、職員の感染者が発生し、みずき園職員が一部対応するなどサービス継続の努力を続けた。12月以降は散発的に感染者及び濃厚接触者が発生したが、事業所運営に与える影響は少なく推移した。

令和4年4月から令和5年3月までの感染状況等は以下のとおりである。

事業所名	感染者数			臨時休業日数	
	利用者	職員	計	全体	部分
松柏園	10	3	13	5	0
みずき園	13	7	20	7	3
あすリード本舗	3	2	5	0	3
チャレンジドセンター久慈	—	1	1	0	0
グループホーム（再掲）	3（3）	1	4（3）	0	0
合計	29（3）	14	43（3）	12	6

## V 法人の運営

### 1 評議員会の開催状況

開催日	出席者数		内 容
	評議員 (定数7)		
定 時 6月24日	6		(1) 報告事項 令和3年度事業報告について (2) 議案 令和3年度計算書類及び財産目録の承認について

### 2 評議員選任・解任委員会の開催状況

今年度の開催はありませんでした。

### 3 理事会の開催状況

開催日	出席者数		内 容
	理 事 (定数6)	監 事 (定数2)	
第1回 6月7日	6	2	(1) 報告事項 経理規程細則別添1「共通経費の配分基準表」の一部変更について 公印取扱規程の一部変更について (2) 議案 令和3年度事業報告について 令和3年度決算について 令和4年度定時評議員会の招集について 育児・介護休業規程の一部変更について 令和4年度第1次補正予算について 降格人事の承認について

第2回 11月30日	5	2	(1) 報告事項 理事長等職務執行状況の報告について 障害者就業・生活支援センター事業（生活支援等事業）事務指導の実施結果について (2) 議案 育児・介護休業規程の一部変更について 令和4年度第2次補正予算について
第3回 3月23日	5	2	(1) 報告事項 理事長等職務執行状況の報告について 令和4年度障害福祉サービス事業者等の実地指導の実施結果について (2) 議案 令和4年度第3次補正予算について 給与規程の一部変更について 令和5年度事業計画について 令和5年度予算について あすリード本舗運営規程の一部変更について 松柏園運営規程の一部変更について みずき園運営規程の一部変更について みずき園共同生活援助運営規程の一部変更について 一般相談支援事業運営規程の一部変更について 特定・障害児相談支援事業運営規程の一部変更について

#### 4 監事監査

監査等	開催日	内容
決算監査	5月25日	令和3年度業務執行状況及び財産状況監査 監事：佐々木信蔵、勝田好正 説明者：間健倫理事長、田代順専務理事、 各事業所管理者3名及び事務員4名
出納調査	5月25日	1月～3月までの会計執行状況
	8月24日	4月～6月までの会計執行状況
	11月21日	7月～9月までの会計執行状況
	2月22日	10月～12月までの会計執行状況

#### 5 会計顧問による月次会計監査

会計顧問「税理士法人つばさ会計」による月次監査を毎月実施し、1か月毎の会計・経理を明らかにし現況を把握した。

委嘱契約の内容 (1) 会計顧問 (2) 決算監査 (3) 税務顧問

#### 6 福祉サービスに係る苦情解決事業

##### (1) 苦情解決体制

各施設ごとに苦情受付窓口を設置し利用について広報と啓発に努めた。

##### (2) 苦情受付

苦情解決規程に基づく苦情受付はありませんでした。

## 7 身体拘束適正化の取り組み

### (1) 指針の整備

身体拘束禁止に関する指針を整備し、利用者に対する身体拘束を禁止するとともに、やむを得ず身体拘束や行動制限を行う場合の対応方法を明確にすることで、利用者の人権を尊重した適正な支援の提供に努めた。

### (2) 身体拘束廃止委員会

法人内に全事業所の係長以上の職員で構成する「身体拘束廃止委員会」を設置し、各事業所の取り組みを点検するとともに、身体拘束の廃止と適正な支援の実施に向けた取り組みを行った。

今年度は2回開催し、指針の確認と運用方法、委員会開催時期の設定、職員研修の検討を行った。

## 8 虐待防止の取り組み

### (1) 虐待防止対応体制

虐待防止対応責任者、虐待防止受付担当者、第三者委員を配置し、利用者に対する虐待防止を図るとともに、利用者の人権を保護し、健全な支援の提供に努めた。

### (2) 虐待通報受付

虐待防止対応規程に基づく虐待通報受付はありませんでした。

### (3) 虐待防止委員会

法人内に各事業所の責任者、担当で構成する「虐待防止委員会」を設置し、虐待の防止と適正な支援の実施に向けた取り組みを行った。

今年度は7回開催し、職員倫理綱領の周知や職員セルフチェックの活用と課題検討を行った。また、法人内全職員を対象とした虐待防止研修を企画・実施した。

## 9 地域における公益的な取組

### (1) 「IWATE・あんしんサポート事業」の実施

地域の市町村行政や社会福祉協議会等と連携・協力しながら、さまざまな生活課題を抱える皆さまの相談に応じ、日常生活上の福祉的な困りごとの解決に向けて支援していく社会貢献（地域公益）活動を実施した。

今年度のサポート対応はありませんでした。

## 10 情報公開

### (1) ホームページへの掲載

法人ホームページを開設し、社会福祉法人に公表が義務付けられている事項及び積極的な公表事項等について公開した。

#### ○社会福祉法に基づく公表事項

定款の内容、報酬等の支給の基準、役員等名簿、事業の概要、計算書類

#### ○積極的な公表事項

事業報告書、財産目録、付属明細書、監査報告書、社会福祉充実残額算定シート

#### ○自主公表事項

新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ（4回）

### (2) 法人機関紙の発行

法人機関紙を年1回発行し、関係機関への配布や事業所内での掲示を通じて活動状況と決算資料を公開した。

## 1 1 研修の状況

### (1) 役員の外部研修への参加

期 日	研修名	場 所	参加者
7月14日	令和4年度改正育児・介護休業法オンライン説明会 (岩手労働局主催)	オンライン	専務理事 田代 順
8月1日	令和4年度社会福祉法人経営サポートセミナー (岩手県保健福祉部主催)	久慈地区合同庁舎	監事 佐々木 信蔵 監事 勝田 好正 専務理事 田代 順

### (2) 法人職員研修会の開催

期 日	研修名・内容	場 所	参加者
10月15日	令和4年度第1回法人職員研修会 ○身体拘束について ・国が示す身体拘束のあり方 ・修倫会「身体拘束禁止に関する指針」 ○虐待防止研修 ・支援者の虐待リスクサイン ・利用者への不適切な支援について	久慈市総合福祉センター	全事業所職員58名
3月4日	令和4年度第2回法人職員研修会 ○講演「B型事業所とグループホームを運営してみて」 講師：生活訓練施設銀杏荘 施設長 村上 和久 氏 ○キャップハンディ体験 ・車いす体験 ・肢体不自由体験 ・自閉症の見える世界シングルフォーカス体験	久慈市総合福祉センター	全事業所職員52名 (運転手除く)

### (3) 各施設の職員研修

施 設 名	内部研修の実施回数	外部研修	
		参加回数	参加延人数
松柏園	0	3	5
みずき園	0	4	22
あすリード本舗	0	3	11
チャレンジドセンター久慈	2	15	27
合 計	2	25	65

## 1 2 役員等の状況 (令和5年3月31日現在)

### 【評議員7名(定数7名)】

田表 一夫                  日沢マサ子                  田中 泰郎                  瀧 重吉

村田 幸江                  松野下富則                  七十刈清明

※ 任期 就任年月日：令和3年6月23日

満了年月日：令和7年6月に開催される定時評議員会終結の時

【理事6名（定数6名）、監事2名（定数2名）、顧問1名】

理事長 間 健倫 専務理事 田代 順 理事 中野 信男  
理事 大崎 恵作 理事 間 加壽子 理事 高屋敷真喜子  
監事 佐々木信蔵 監事 勝田 好正 顧問 河野 貫治

※ 任期 就任年月日：令和3年6月23日  
満了年月日：令和5年6月に開催される定時評議員会終結の時

【評議員選任・解任委員5名（定数5名）】

外部委員 岩崎 壽吉 外部委員 宇部 繁 監事 佐々木信蔵  
監事 勝田 好正 事務局員 渡辺 和光

※ 任期 就任年月日：令和3年6月23日  
満了年月日：令和7年6月に開催される定時評議員会終結の時

【第三者委員2名（定数2名）】

神田 秀子（元評議員） 神田 光子（元民生児童委員）

※ 任期 就任年月日：令和3年6月23日  
満了年月日：令和5年6月に開催される定時評議員会終結の時

1.3 職員の状況（令和5年3月31日現在）

施設名	職員数	内 訳		
		常用職員	有期契約職員 フルタイム	有期契約職員 パートタイム
松柏園	15	5	4	6
みずき園	26	11	6	9
あすリード本舗	11	7	2	2
チャレンジドセンター久慈	6	6	0	0
合 計	58	29	12	17

## VI 事業内容

各施設、事業所の内容は別紙報告書のとおりである。

- ・令和4年度松柏園事業報告
- ・令和4年度みずき園事業報告
- ・令和4年度みずき園共同生活援助事業報告
- ・令和4年度あすリード本舗事業報告
- ・令和4年度チャレンジドセンター久慈事業報告

## VII 附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

# 令和4年度 松柏園事業報告書

## 1 総括

松柏園運営規程に基づき、一人ひとりの障害特性や個性を尊重しながら、生産活動を通じて就労移行に向けた知識及び能力の向上を図り、関係市町村、保健・医療・福祉サービス機関と連携しながら適正な指定就労継続支援B型サービスを実施した。

施設の利用状況は疾病等の進行により4名の退所があり、中期以降で2名の新規利用者があったものの、新型コロナウイルス感染症に伴う休園や欠席により平均利用者数が減少した。高齢化が進むなか利用契約者数の減少が見込まれ、新規の利用者獲得が課題となる。

就労支援事業では、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域イベントの中止や取引先の停止があり、仕入れにおいても原材料の高騰が続いたため収益に大きく影響を受けた。ただし、設備の使用法の工夫や効率化を図るとともに、製品単価の値上げ交渉を行い利益の確保に努めた結果、平均工賃月額が30,565円となり目標額を上回ることが出来た。

## 2 事業の概要

- (1) 事業の種類 就労継続支援B型
- (2) 指定年月日 平成19年4月1日
- (3) 定員 40名
- (4) 主たる対象者 身体障害者、知的障害者
- (5) 就労支援種目 クリーニング、縫製、シルクスクリーン印刷
- (6) 職員の配置状況 (令和5年3月31日現在)

職 種	員数	常 勤		非常勤		常勤換算
		専従	兼務	専従	兼務	
施設長 (管理者)	1	1				1
サービス管理責任者	1	1				1
目標工賃達成指導員	1	1				1
生活支援員	2	2				2
職業指導員	5	3		2		4.3
業務員	1			1		0.7
職業指導員補助	1			1		0.8
事務員	1	1				1
運転手	2			2		0.8
合 計	15	9		6		12.6

## 3 施設サービスの状況

### (1) 個別支援

アセスメントにより利用者と家族のニーズを把握し、希望する日中活動や生産活動の方向性及び就労移行に対する考え方を含めた個別支援計画を作成し、必要に応じて見直しを行いながら、個々のニーズや特性に合わせたサービス提供に努めた。



(2) 作業支援

利用者個々の障がい特性に応じた作業ができるように、可能な限り作業工程の単純化を図り、道具の工夫や手順の標準化に努め、継続的な作業環境の整備に努めた。また、利用者個々のスキルアップや能力を向上するための作業支援に努めた。

一方で、加齢により作業能率の低下が見られる利用者が増えつつある現状を踏まえ、対象となる利用者に対しては健康管理を優先し、無理の無い作業の取り組みとなるよう配慮した。

(3) 実習・就労移行支援

一般就労、就労移行希望者がいなかったが、利用者個々のスキルアップや能力・就労意欲の向上が図れるよう支援に努めた。

(4) 社会生活支援

新型コロナウイルス感染症対策を優先し、外出を伴う行事の自粛や行事規模を縮小する等の対応を余儀なくされたが、利用者の生きがいのある豊かな生活のため、各種の園内行事を創意工夫しながら実施した。

・夏の行事（久慈琥珀ペンダント作り・七夕短冊作り）、忘年会、慰労食事会等

(5) 給食サービス

給食を希望する利用者を対象に、栄養と利用者の身体状況や嗜好に配慮し、バラエティーに富んだ手作りの食事（有料）を提供した。

・給食サービス利用者数 38名（利用率95%）

・食事提供に係る実費徴収額 1食当たり300円

※低所得者の軽減措置適用の該当者は原材料費相当額の258円

(6) 健康管理

利用者個々の健康状態を把握するとともに、定期的に血圧・体重測定を行うほか、健康診断を年1回（2月）実施。また、希望者（18名）には医療機関においてインフルエンザの予防接種を実施した。

新型コロナウイルス感染症対策として、毎朝の検温の実施と自動アルコール噴霧器を設置し手指の消毒に努めた。

(7) 送迎サービス

送迎対応可能地域に居住しており、自主通所が出来ない利用者を対象に、送迎サービス（無料）を実施した。

・送迎サービス対象者数 38名（利用率95%）

(8) 安全対策

非常災害時に利用者の安全確保を図るため、定期的に消防設備点検を行うほか、松柏園消防計画に基づき、消防署指導による防災総合訓練（年1回10月）、通報・避難訓練（年1回4月）を実施した。

(9) 地域生活支援

各市町村、チャレンジドセンター久慈、グループホームとの連携を図りながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援に努めた。

グループホーム利用者に対しては、みずき園グループホーム個別支援会議へ担当支援員が参加するなど、グループホーム職員との情報共有を図りながら、チームケアの一員として生活支援に努めた。

#### 4 利用者の状況（令和5年3月31日現在）

(1) 月別在籍利用者数 (単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
男性	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	25	26	311	25.9
女性	16	16	14	14	14	15	14	14	14	14	14	14	173	14.4
合計	42	42	40	40	40	41	40	40	40	40	39	40	484	40.3

(2) 障害別利用者数 (単位：人)

障害種別	身体障害						知的障害		精神障害				合計
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	A	B	1級	2級	3級	手帳なし	
利用者数	0	10	0	2	1	2	0	21	1	2	0	1	40
小計	15						21		4				

(3) 年齢別利用者数 (単位：人)

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	計	平均年齢
利用者数	0	6	3	6	13	12	40	52.4歳

(4) 出身市町村別利用者数 (単位：人)

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	その他	計
利用者数	26	6	5	3	0	40

#### 5 施設利用状況

月別区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数(日)	21	20	22	21	22	17	21	22	22	20	20	23	251
延利用者数(人)	771	724	791	752	780	573	768	781	774	693	690	827	8924
1日平均利用者数(人)	36.7	36.2	36.0	36.0	35.0	34.0	37.0	36.0	35.0	34.7	34.5	36.0	35.5
利用率(%)	87.4	86.2	89.9	89.5	88.6	82.2	91.4	88.8	88.0	86.6	88.5	89.9	88.1

## 6 就労支援事業の状況

### (1) 年間就労支援事業収入

作業科	収入(円)	前年度対比(%)
クリーニング	30,922,611	101.6%
縫製	1,948,408	93.0%
シルクスクリーン印刷	16,506,587	106.9%
合計	49,377,606	102.9%

### (2) 工賃支給状況

	令和4年度目標	令和4年度実績	備考(前年度実績)
平均工賃月額	30,500円	30,565円	30,523円

### (3) 各科の状況

#### <クリーニング科>

主力となる4施設の入所者私物クリーニングは順調に推移し、昨年度とほぼ同額の確保となった。

一般クリーニングは、前年度比53.6%増となった。要因としては、前年度に比べ宿泊施設のバスタオル、フェイスタオルの新規受託、民間事業所のユニホームや白衣の扱い量の増加、学校等の団体への継続的な営業活動により、売り上げを伸ばす事が出来た。

経費面では、燃料費高騰が続いている中、ボイラーや洗濯・乾燥機等の使い方の効率化を図り、燃料費削減に向けた対策を徹底して行った。

クリーニング収入内訳(円)		前年比%
施設利用者私物(老健等4施設)	22,407,670	101.1
基準寝具業務委託(特養1施設)	1,746,431	99.9
一般(団体等)	6,768,510	153.6
計	30,922,611	101.6

#### <縫製科>

全体での年間売上は前年比7%減となった。新型コロナウイルス感染症の影響で、A社は生産数の減少が見られ、B社では箱折りやエプロン仕上げの数量が減少し前年比35.3%減となった。一方、C社へは糸切り作業の増量を交渉し安定した作業量を確保するよう努め、前年比57.2%増となった。

作業面においては、高齢の利用者が多くなってきたため細かな作業やスピードを求められる作業等、取り組みが難しい作業も多くなってきているが、安全面や日々の健康状態に注意しながら無理のない作業へ取り組みと共に、各社へ交渉し利用者の可能な作業を継続して確保できるよう努めた。

縫製収入内訳(円)		前年比%
子ども服仕上げ受託縫製事業所A社	1,010,439	95.0
バック付属品受託縫製事業所B社	476,254	64.7
ジャージ糸切り受託縫製事業所C社	461,715	157.2
計	1,948,408	93.0

### <シルクスクリーン印刷科>

全体での年間売上は、前年比 6.9%増となった。今年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響でイベントの中止や縮小もあったが、営業を続けてきた事によりあまちゃんマラソンのTシャツの注文を3年ぶりにいただいた。また、エコバックとして使えるトートバックの需要が高まったことにより、その他のアイテムが前年比 31.6%増となった。その他、4月よりポイントカードを発行したことによりリピート率が上がり、口コミによる新規の問い合わせや注文を遠方からもいただけるようになってきた。

作業面では技術指導を継続して行い、刷り作業やタオル畳み加工の利用者を増やし、生産数向上に向けて取り組みを行った。また、原材料高騰に伴い各商品の値上げをおこない利益確保にも努めた。

シルクスクリーン印刷 収入内訳（円）		前年 比%
タオル類	5,133,765	110.0
Tシャツ類	5,822,750	119.3
のぼり旗類	2,190,700	65.7
その他のアイテム	3,359,372	131.6
計	16,506,587	106.9

## 7 主要行事

月	日	行 事 等	場 所	参 加 者 等
4	1	「松柏園だより」発行		
	5	親睦会役員会	会議室	利用者7名、職員2名
	6	親睦会総会	食堂	利用者33名、職員6名
	7	避難訓練	園敷地内	利用者34名、職員12名
5				
6	9	親睦会役員会	会議室	利用者7名、職員2名
7	1	「松柏園だより」発行		
	7	夏の行事	食堂	利用者37名、職員14名
8	12	特別工賃支給		
	13~15	お盆休み		
9	8	親睦会役員会	会議室	利用者7名、職員2名
10	3	「松柏園だより」発行		
	27	避難訓練	園敷地内	利用者36名、職員12名
11	9	親睦会役員会	会議室	利用者7名、職員2名
12	15	特別工賃支給		
	16	忘年会	久慈グランドホテル	利用者26名、職員14名
	23	クリスマス会	食堂	利用者35名、職員11名
	29	大掃除	食堂	
	30~1/3	年末年始休み		
1	4	「松柏園だより」発行		
2	10	利用者健康診断	みずき園	利用者36名
3	23	慰労食事会	食堂	利用者35名、職員11名

\*毎月15日は工賃支給日、体重・血圧測定、ごちそうの日

## 8 会議の状況

実施日	会議名	参加職種	内容
毎月1回	職員会議	全職員	施設業務、行事予定について
毎月1回	授産会議	全職員	授産業務全般、工賃等について
毎月1回	支援会議	全職員	利用者の個別支援について
毎月1回	運営会議（4事業所合同）	施設長、係長	法人内全事業所の運営について
年4回	給食会議（松柏園・みずき園合同）	担当支援員	給食業務全般、栄養指導について

## 9 職員研修の状況

### 施設外研修

実施日	研修名	開催者	場所	参加職種	参加人数	研修内容
5/17	令和4年度障がい者協議会「虐待防止権利擁護研修会」	岩手県社会福祉協議会 障がい者福祉協議会	オンライン 会議室	施設長 係長	2名	講義 「障がい者施設従事者等による障がい者虐待の防止について」
6/9	令和4年度第1回チャレンジド在職者交流会	チャレンジドセンター 久慈	久慈市役所	指導員補助	1名	講演 「会社が望む社員と働き方」
10/31	令和4年度工賃向上研修	岩手県社協	オンライン 会議室	職業指導員 職業指導員	2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産性向上の基礎</li> <li>工程分析</li> <li>サーブリック分析</li> </ul>

# 令和4年度 みずき園事業報告書

## 1 総括

みずき園事業計画及び運営規程に基づき、利用者一人ひとりの障がい特性を尊重しながら、生産活動と生活支援を通じて知識及び能力の向上を図り、関係市町村、保健・医療・福祉サービス機関と連携しながら、適切な指定就労継続支援B型サービスを実施した。

施設の利用状況は、入退所の増減がなく前年度並みの利用率で推移したが、新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休業や個別の欠席により年間開所日数及び年間延利用者数が減少した。また、利用者の獲得に向け、特別支援学校等からの実習や見学を受け入れているが、新規利用希望者が無く、今後の大きな課題である。

就労支援事業は、新型コロナウイルス感染症の影響が継続している中、全体としては前年並みの売り上げを維持したが、電気料や修繕費等の経費が増加し収支を圧迫した。工賃については、前年の平均を下回ったものの目標工賃は達成することが出来た。

利用者支援は、感染症対策を優先しながらも、約3年ぶりに外出行事を実施するなど、楽しみながら通えるようなサービス提供に努めた。

## 2 事業の概要

- (1) 事業の種類 就労継続支援B型
- (2) 指定年月日 平成19年4月1日
- (3) 定員 40名
- (4) 主たる対象者 知的障害者
- (5) 就労支援種目 食品製造・リサイクル・製粉加工・その他
- (6) 職員の配置状況 (令和5年3月31日現在)

(単位：人)

職 種	員数	常 勤		非常勤		常勤換算後の員数
		専従	兼務	専従	兼務	
施設長（管理者）	1		1			1
総務課長	1	1				1
事務員	1	1				1
サービス管理責任者	1	1				1
職業指導員	5	3		2		4.6
生活支援員	3	3				3
目標工賃達成指導員	1	1				1
調理員	2			2		1.3
運転手	2			2		1.1
合 計	17	10	1	6		15.0

## 3 施設サービスの状況

### (1) 個別支援

アセスメントにより利用者と家族のニーズを把握し、希望する日中活動や生産活動の方向性及び生活支援を含めた個別支援計画を作成し、必要に応じて見直しを行いながら、個々のニーズや特性に合わせたサービス提供に努めた。

- ・支援検討会議 年2回実施

## (2) 作業支援

利用者個々の障がい特性を考慮した上で作業科を決定し、基本的に同一作業科を継続して取り組んだ。また、高齢化や障がい特性により作業への取り組みに一定の配慮を要する利用者が増加傾向であるため、創作活動や農園作業等の多様な活動を組み入れ、心身の安定と作業意欲の維持向上を図った。

## (3) 社会生活支援

新型コロナウイルス感染症対策を優先し、外出を伴う行事の自粛や行事規模を縮小する等の対応を余儀なくされたが、利用者の生きがいのある豊かな生活のため、各種の園内行事を創意工夫しながら実施した。年度後半には、地域の感染状況に注意しつつ、秋の行楽として外出行事を実施、忘年会も市内の宴会場で行う等、久しぶりに施設外で行事を行い利用者の楽しみにつなげることができた。

- ・春の行事（お茶会）、夏の行事（ミニ運動会）、秋の行事（野田村及び普代村へ外出行事）、冬の行事（卓球バレー）、忘年会、ミズキまつり、慰労食事会

## (4) 健康管理

利用者個々の健康状態を把握するとともに、毎月の工賃支給日に体重測定を行うほか、岩手県予防医学協会の移動検診車による健康診断を年1回（2月）施設内で実施。また、希望者には医療機関においてインフルエンザの予防接種（11月・26名）を実施した。

新型コロナウイルス感染症対策として、毎朝の検温の実施と自動アルコール噴霧器を設置し手指の消毒に努めた。

## (5) 給食サービス

給食を希望する利用者を対象に、利用者の身体状況、栄養や嗜好に配慮するために、アンケート調査を実施し（年2回）、少食を希望する利用者へも対応しながら、調理可能な範囲でバラエティーに富んだ手作りの食事（有料）を提供した。

- ・給食サービス利用者数 39名（利用率97.5%）
  - ・食事提供に係る実費徴収額 1食当たり340円
- ※低所得者の軽減措置適用の該当者は原材料費相当額の298円

## (6) 送迎サービス

送迎対応可能地域に居住しており、自主通所が出来ない利用者を対象に、送迎サービス（無料）を実施した。利用者36名（利用率90%）

## (7) 安全対策

非常災害時に利用者の安全確保を図るため、定期的に消防設備点検を行うほか、みずき園消防計画に基づき、消防署指導による総合防災訓練（年1回10月）、自主避難訓練（年1回4月）を実施した。

## (8) 地域生活支援

各市町村、チャレンジドセンター久慈、各グループホームと連携しながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援に努めた。

また、毎月開催されるグループホーム個別支援会議を通して利用者情報を共有しながら職員間の連携を図り支援に努めた。

#### 4 利用者の状況（令和5年3月31日現在）

(1) 月別在籍利用者数 (単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
男性	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	276	23.0
女性	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204	17.0
合計	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	480	40.0

(2) 障害別利用者数 (単位：人)

種別	身体障害						知的障害		精神障害				合計
程度	1級	2級	3級	4級	5級	6級	A判定	B判定	1級	2級	3級	手帳なし	
利用者数	1	0	0	0	0	0	15	23	0	1	0	0	40
小計	1						38		1				

(3) 年齢別利用者数 (単位：人)

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	計	平均年齢
利用者数	0	3	20	9	5	3	40	40.8歳

(4) 出身市町村別利用者数 (単位：人)

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	その他	計
利用者数	25	12	2	1	0	40

#### 5 施設利用状況

月別区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数(日)	21	18	19	19	22	21	21	22	22	20	20	23	248
延利用者数(人)	721	614	653	652	717	664	733	738	761	687	687	795	8422
1日平均利用者数(人)	34.3	34.1	34.4	32.6	32.6	34.9	34.9	33.5	34.6	34.4	34.4	34.6	34.0
利用率(%)	85.8	85.3	85.9	85.8	81.5	79.0	87.3	83.9	86.5	85.9	85.9	86.4	84.9



## 6 就労支援事業の状況

### (1) 年間事業収入

科 目	収 入 (円)	前年度対比 (%)
食 品 製 造 事 業	3, 9 5 7, 7 2 2	1 0 2. 4
リ サ イ ク ル 事 業	1, 8 4 0, 2 3 3	1 0 3. 0
製 粉 事 業	1, 3 6 5, 1 6 2	9 6. 4
受 託 事 業	3, 7 0 9, 1 0 0	1 0 2. 6
合 計	1 0, 8 7 2, 2 1 7	1 0 1. 7

### (2) 工賃支給状況

	令和4年度目標	令和4年度実績	備考(前年度実績)
平均工賃月額	5, 5 0 0 円	5, 5 0 5 円	6, 0 2 9 円

### (3) 各事業の状況

#### <食品製造事業>

食品製造事業は、前年からほぼ横ばいで推移し、コロナ過による影響が継続して見られた。

主な取引先の観光物産館や産直等は、観光客の人出も戻りつつあるが、コロナ過以前のように売上げが戻っていない。

ギフト販売は地域の皆さんの協力により前年より6%増加した。

利用者支援では、高齢化等により個々の利用者の作業能力に変化が見られるため、都度の声掛け支援を行いながら取り組んだ。また、菓子製造の作業工程に取り組み可能な利用者が減少傾向であり、今後の課題である。

収入内訳(円)		前年度対比%
菓 子 類	2, 6 2 5, 8 6 4	1 0 0. 6
ギ フ ト 販 売	1, 3 3 1, 8 5 8	1 0 6. 0
計	3, 9 5 7, 7 2 2	1 0 2. 4

#### <リサイクル事業>

リサイクル事業は、既存の作業量が激減する中、農福連携等の施設外作業に力を入れた結果、前年並みの売り上げを確保できた。

農福連携作業では、椎茸農家での菌床片付け作業や菌床返し作業に年間を通じて取り組み、前年より37%増加した。

空缶等リサイクル作業では、農福連携作業を優先したため、空缶・古紙の作業時間が減り売上げの減少もあったが、官公庁の除草及び剪定作業の受託料の値上げを図り5%の増加となった。

古着等リサイクル作業では、ウエス需要の落ち込みや、年2回のバザー販売が今年度も中止になったことにより前年より50%減少した。また、今年度もコロナ対策に伴い、一般家庭からの古着の回収を見合わせており、バザー用品やウエスの原料が不足している状況であるが、回収再開の時期や方法等が課題である。

利用者支援では、施設外作業に従事する利用者の身体的な負担を軽減するため、作業日程の調整を行ったり、効率的な作業を心掛けるなど利用者の体調面に配慮しながら取り組んだ。

収入内訳(円)		前年度対比%
空 缶 等 リ サ イ ク ル	6 1 6, 9 4 0	1 0 5. 2
農 福 連 携	9 8 5, 2 4 0	1 3 7. 0
古 着 等 リ サ イ ク ル	2 3 8, 0 5 3	4 9. 5
計	1, 8 4 0, 2 3 3	1 0 3. 0

<製粉事業>

製粉事業は、前年から3.6%減少した。

農水産物の加工受託は、電気料など製造原価が上昇していることから、顧客に理解を得ながら受託料金の値上げを行い、前年から10%増加した。

粉製品等の販売は、コロナ過の影響が続き産直等が伸び悩み22.3%減少した。

利用者支援では、落ち着いて作業が出来るように取り組んだ。

収入内訳 (円)		前年度 対比%
加工受託	902,641	110.0
販売	462,521	77.7
計	1,365,162	96.4

<受託事業>

松柏園の給食業務では、安定した給食の提供のため情報共有して取り組んだ。

受託料収入は前年並みであったが、人件費コストが増加しており、工賃原資を確保できないことが課題となった。

利用者支援では、作業に集中できる環境づくりを心掛け取り組んだ。

収入内訳 (円)		前年度 対比%
給食業務	3,709,100	102.6
計	3,709,100	102.6

## 7 主要行事

月	日	行 事 等	場 所	参 加 者 等
4	17	第1回家族会役員会・決算監査	食堂	家族会役員7名、職員3名 利用者、職員 該当者2名 利用者、職員
	21	自主避難訓練	園庭	
	21	年間皆勤表彰	食堂	
	28, 29	お茶会	食堂	
	29	みずき通信春号発行		
5	29	家族会総会（書面開催）		
6	8~10	久慈拓陽支援学校前期実習受け入れ		実習生1名
	8~24	〃		〃
7	8	ミニ運動会	作業室	利用者、職員
	29	みずき通信夏号発行		
8	19	夏季特別工賃支給		
9				
10	14	自主避難訓練	園庭	利用者、職員
	18	秋の行事(外出行事)	野田、普代	利用者、職員
	31	みずき通信秋号発行		
11	14~15	インフルエンザ予防接種	関上こどもクリニック	利用者26名、職員10名
12	10	忘年会	ロイヤルパークカリサキ	利用者、職員
	20	冬期特別工賃支給		利用者
	23	クリスマス会	食堂	利用者、職員
	29	年末大掃除・仕事納め式	園内	利用者、職員
	30~1/3	年末年始休暇		利用者、職員
1	4	仕事始め式	作業室	利用者、職員
	13	ミズキまつり	作業室	利用者、職員
	31	みずき通信冬号発行		
2	10	利用者健康診断(岩手県予防医学協会検診車)	園内	利用者
	17	冬の行事(卓球バレー他)	園内	利用者、職員
3	12	第3回家族会役員会	食堂	家族会役員7名、職員3名 利用者、職員
	21	慰労食事会	食堂	

※毎月20日は工賃支給日、体重測定、ごちそう給食の日

## 8 定例会議の状況

実施日	会議名	参加職種	内容
毎月1回	職員会議	全職員	施設業務、行事予定、授産業務全般について
毎月1回	工賃支給会議	各作業科担当職員	利用者の工賃支給額の決定について
年2回	個別支援検討会議	施設長、担当職員	利用者の個別支援計画について
毎月1回	グループホーム支援会議	施設長、担当職員、全世話人	4ホームの運営全般について
毎月1回	各グループホーム個別支援会議	担当職員、世話人	入居利用者の個別支援について
毎月1回	運営会議（4事業所合同）	施設長、担当職員	各事業所の運営について
年2回	工賃評価会議	施設長、担当職員	利用者の作業能力評価について
年4回	給食会議（松柏園、みずき園合同）	施設長、担当職員	給食業務全般、栄養指導について

## 9 職員研修の状況

### （1）施設外研修

実施日	研修名	開催者	場所	参加職種	参加人数	研修内容
5/7	岩手県障がい協虐待防止研修	岩手県社会福祉協議会	オンライン	サービス管理責任者	1名	障がい者施設従事者による障がい者虐待の防止について
10/28	令和4年度発達障害基礎研修	岩手県発達障害者支援センター	オンライン	サービス管理責任者 生活支援員 職業指導員 目標工賃達成指導員	9名	発達障害の理解 発達障害の特性のある方への対応
3/7	令和4年度工賃引き上げセミナー	岩手県保健福祉部	オンライン	職業指導員 サービス管理責任者 生活支援員 職業指導員 目標工賃達成指導員	8名	当たる商品開発と販促法
3/10	令和4年度サービス管理責任者更新研修	岩手県保健福祉部	ふれあいラント <sup>®</sup> 岩手	職業指導員	1名	資格更新研修

## 令和4年度 共同生活援助事業報告書

### 1 総括

みずき園共同生活援助事業運営規程に基づき、利用者一人ひとりの障がい特性、ニーズに合わせ地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援した。

新規利用者2名の受入れや、障がい特性及び利用者間の相性に配慮して利用するホームの入れ替え及び部屋替えを実施する等、落ち着いて過ごせる環境作りに努めた。7月以降は大きな変動なく充足率97%を維持し、休日や長期休暇に家族の元へ帰省する機会が減少しホームで過ごす利用者が増加傾向で推移した。

また、新型コロナウイルス陽性者の発生に伴いホーム内での感染対策を実施しながら利用者の心身状態の変化を見守り、医療機関や関係機関と連携しながら感染拡大防止に努めた。

### 2 共同生活住居の所在地及び利用定員

名称	所在地	利用定員	総定員
みずきハウス	久慈市長内町第20地割61番地4	女性5人	22人
なごみハウス	久慈市栄町第37地割78番地16	男性5人	
のどかハウス	久慈市川貫第5地割20番地67	男性6人	
きららハウス	久慈市川貫第9地割24番地1	男性6人	

### 3 職員の配置状況（令和5年3月31日現在）（単位：人）

職種	員数	常勤	非常勤	常勤換算後の員数
施設長（管理者）	1	1		1
サービス管理責任者	1	1		1
生活支援員	2	2		1.2
世話人	7	4	3	5.4
合計	11	8	3	8.6

### 4 利用者の状況

#### （1）月別・ホーム別在籍利用者数

（単位：人）

ホーム別	月別												計	充足率 (%)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
みずきハウス （定員5人）	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	100%
なごみハウス （定員5人）	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	100%
のどかハウス （定員6人）	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72	100%
きららハウス （定員6人）	5	5	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	62	86%
合計	21	21	22	22	21	21	21	21	21	21	21	21	254	97%

## (2) 障害支援区分別利用者数

(単位：人)

障害支援区分 \ 月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
区分 2	9	9	11	11	10	10	10	10	10	10	10	10	120
区分 3	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	110
区分 4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
合計	21	21	22	22	21	21	21	21	21	21	21	21	254

## (3) 出身市町村別利用者数

(単位：人)

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	一戸町	計
利用者数	11	6	2	1	1	21

## 5 サービス内容

## (1) 個別支援

利用者の人権を尊重し、一人ひとりのニーズを大切にしながら、本人及び家族の同意を得た個別支援計画に基づいて関係機関と連携を取り支援を実施した。又、必要に応じて買い物や行事参加の同行支援や各種手続き支援を行った。

## (2) 食事の提供

栄養並びに嗜好を考慮し、利用者一人ひとりの心身状態に配慮した食事を適切な時間に提供した（朝食：7:00～ 夕食：18:00～）。また、休日の昼食は各自自由に用意しているが必要な場合は買物等の同行、代行支援を行った。コロナウイルス感染防止対策の一環で体調不良者が発生した場合は居室にて食事提供を実施した。

※一般就労している利用者の勤務時間によって個別対応を行った（朝食、昼食、夜食）。

## (3) 入 浴

1週間に3回以上の入浴、希望により毎日の入浴を行った。利用者の心身状態に応じ入浴準備、見守り支援を行った。

## (4) 排 泄

個人のプライバシーを尊重の上、利用者の心身の状況に応じて適切な方法により、必要な援助を行った。

## (5) 地域生活支援

一人ひとりが地域で暮らし続けられるように家族や関係機関との連携、日常生活自立支援事業との連絡調整を行った。また必要に応じて各種手続きの同行、代行支援を行った。

## (6) 健康管理

利用者一人ひとりの健康状態、行動履歴を把握し、必要に応じて掛かりつけ医や協力病院での定期通院、不定期通院等の通院同行支援を行った。また、健康診断、コロナワクチン接種、食事栄養指導等への同行支援を行った。

## (7) 余暇支援

新型コロナウイルス感染症の拡大により感染症対策を優先しながら、利用者一人ひとりの希望を尊重しホーム内での交流や楽しみを取入れ、余暇の充実に繋げた。＜誕生日会、クリスマス会等＞

## (8) 相談支援

利用者の心身の状況や環境等の把握に努め、利用者または家族の相談に応じながら、必要な助言やその他の援助を行った。

また、各市町村、関係機関と連携を図りながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援を行った。

6 利用料金（事業者が利用者から直接受領する費用及びその額は次のとおり）

	サービス利用料	家賃 (個室)	食費 (1食あたり)	水道光熱費 (電気、水道、灯油、 日用品費等)
みずきハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	20,000円	朝食 300円 夕食 400円	実費徴収
なごみハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	25,000円	朝食 300円 夕食 400円	実費徴収
のどかハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	18,000円	朝食 300円 夕食 400円	実費徴収
きららハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	18,000円	朝食 300円 夕食 400円	実費徴収

※家賃については、市町村からの家賃補助を受ける場合、月額10,000円を控除した額を受領。

7 非常災害対策

火災時を想定した避難、通報、消火訓練を4ホーム合同、各ホーム毎に実施。(2月)

火災時を想定した避難、支援者不在時の擬似通報体験を各ホーム毎に実施。(3月)

水害時を想定した避難、通報訓練を2ホーム(みずき・なごみ)実施。(7月)

8 定例会議の状況

実施日	会議名	参加職種	内容
毎月1回	グループホーム全体支援会議	施設長、サービス管理責任者、 生活支援員、世話人等全員	グループホーム全体の利用 者支援について
毎月1回	各ホーム支援会議(ホーム毎)	サービス管理責任者、生活支 援員、担当世話人等	利用者の個別支援につい て

9 職員研修の状況

実施日	研修名	開催者	場 所	参加職種	参加人数	研修内容
5/7	岩手県障がい 協虐待防止研 修	岩手県社会 福祉協議会	オンライン	サービスマ ニージャー	1名	障がい者施 設従事者に よる障がい 者虐待の防 止について
10/28	令和4年度 発達障害基礎 研修	岩手県発達 障害者支援 センター	オンライン	サービスマ ニージャー 生活支援員	2名	発達障害の 理解 発達障害の 特性のある 方への対応

「全国グループホーム等研修会」オンライン配信(8月26日開催)に参加予定であったが、新型コロナウイルス陽性者が発生したため参加取り止め

# 令和4年度 あすリード本舗事業報告書

## 1 総括

あすリード本舗運営規程に基づき、利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、一人ひとりの障害特性や個性を尊重しながら、生産活動を通じて就労移行に向けた知識及び能力の向上を図り、関係市町村、保健・医療・福祉サービス機関と連携しながら適正な就労継続支援B型サービスを提供した。

施設の利用状況は、4月に特別支援学校から2名の新規利用者を受け入れ利用者数が21名となった。年間をとおして高い利用率で推移し、平均利用者数は前年を大きく上回った。新型コロナウイルス感染症による個別の休みは見られたものの、基本的な対策を徹底することで感染拡大することなくサービス提供を継続することができた。

就労支援事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響で昨年と同様商品の動きが鈍く、10月に主力商品の値上げを行うことで売上を維持した。一方、原材料費の高騰により自主商品の製造原価が上昇したことや、のだ塩の減産に伴い受託作業収入が大幅に減少したことが影響し、平均工賃は昨年を大きく下回る結果となった。

利用者支援においては、前年度に引き続き、外出を伴う行事の自粛や行事規模を縮小する等の対応を余儀なくされたが、施設内行事の内容を工夫したり、手話講習会を毎月継続して実施するなど利用者間の交流の機会提供に努めた。

## 2 事業の概要

- (1) 事業の種類 就労継続支援B型
- (2) 指定年月日 平成30年10月1日
- (3) 定員 20名
- (4) 主たる対象者 知的障害者
- (5) 就労支援種目  
麵製造作業、菓子製造作業、販売事業、受託作業（のだ塩、炭袋詰め等）
- (6) 職員の配置状況（令和5年3月31日現在）

（単位：人）

職 種	員数	常勤		非常勤		常勤換算後の員数
		専従	兼務	専従	兼務	
施設長（管理者）	1		1			1
副施設長	1	1				1
サービス管理責任者	1	1				1
事務員	1	1				1
生活支援員	1	1				1
職業指導員	4	4				4
目標工賃達成指導員	1	1				1
運転手	2			2		1.1
合 計	12	9	1	2		11.1

### 3 施設サービスの状況

#### (1) 個別支援

利用者が自立した日常生活を営むことができるよう、利用者本人及び家族等の同意を得た個別支援計画を作成し、必要に応じて見直しを行いながら、個々のニーズや特性に合わせたサービスの提供に努めた。

#### (2) 作業支援

利用者個々の実情に応じた作業ができるように環境を整え、就労への作業意欲、能力の向上に向けた継続的な就労の場を提供するとともに、個々の勤労意欲が高まるよう支援した。

#### (3) 実習・就労移行支援

一般就労希望者に対し、利用者個々のスキルアップや能力・就労意欲の向上が図れるよう支援に努めた。

#### (4) 社会生活支援

文化活動、余暇活動を実施することにより、利用者の生活を豊かにするとともに社会参加や生きがいがづくり等の支援を行うため、利用者自治会への支援を実施した。

#### (5) 健康管理

利用者個々の健康状態を把握するとともに、定期的に体重及び血圧測定を行うほか、健康診断を2月に実施した。

新型コロナウイルス感染症対策として、毎朝の検温の実施と体調確認を行うとともに、手指消毒の徹底を行った。

#### (6) 送迎サービス

送迎対応可能地域に居住しており、自主通所ができない利用者を対象に、送迎サービス（無料）を実施した。

・送迎サービス対象者数 20名（利用率95%）

#### (7) 安全対策

非常災害時に利用者の安全確保を図るため、定期的に消防設備点検を行うほか、あすリード本舗消防計画に基づき、防災総合訓練（年1回10月）、通報・避難訓練（年1回5月）を実施した。

#### (8) 地域生活支援

各市町村、チャレンジドセンター久慈、グループホームとの連携を図りながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援に努めた。

グループホーム利用者に対しては、みずき園グループホーム個別支援会議へ担当支援員が参加するなど、グループホーム従業者との情報共有を図りながら、チームケアの一員として生活支援に努めた。

#### (9) 苦情受付体制

提供した施設サービスについて利用者やその家族からの苦情・相談を受け付ける苦情受付窓口を設置し、利用者主体の福祉サービスの確保と権利擁護に努めた。



#### 4 利用者の状況（令和5年3月31日現在）

(1) 月別在籍利用者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
男性	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180	15.0
女性	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72	6.0
合計	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252	21.0

(2) 障害別利用者数

(単位：人)

障害種別	身体障害						知的障害		精神障害				合計
	程度	1級	2級	3級	4級	5級	6級	A判定	B判定	1級	2級	3級	
利用者数	0	1	0	0	0	0	1	17	1	1	0	0	21
小計	1						18		2				

(3) 年齢別利用者数

(単位：人)

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	計	平均年齢
利用者数	2	4	6	7	2	0	21	35.8歳

(4) 出身市町村別利用者数

(単位：人)

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	田野畑村	計
利用者数	12	5	3	0	1	21

#### 5 施設利用状況

月別区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数(日)	21	21	22	21	22	21	21	22	21	20	20	23	255
延利用者数(人)	441	441	462	441	462	441	441	462	441	420	420	483	5355
1日平均利用者数(人)	19.8	20.2	20.0	20.5	20.0	18.9	19.7	19.2	19.7	19.8	20.4	19.6	19.8
利用率(%)	94.1	96.1	95.5	97.5	95.5	90.0	93.7	91.3	93.9	94.3	96.9	93.4	94.3

## 6 就労支援事業の状況

### (1) 年間事業収入

項目	収入(円)	前年度対比(%)
製麺事業	26,329,662	103.7
食品製造事業	2,084,665	122.8
販売事業	1,145,711	91.3
受託事業	5,580,699	84.5
合計	35,140,737	100.6

### (2) 工賃支給状況

	令和4年度目標	令和4年度実績	備考(前年度実績)
平均工賃月額	29,500円	25,918円	28,213円

### (3) 各事業の状況

#### <製麺事業>

主力商品の生中華麺は、スーパー等量販店の袋入れや、食堂等業務用の卸販売を継続的に営業し、昨年並みの売り上げを確保する事が出来た。その他の商品についても、概ね前年並みの売上であった。

新型コロナウイルス感染症の影響で、小売店や飲食店、産直等への人の動きが鈍く、売り上げが伸び悩んでいる状況の中、小麦等原材料の仕入れ価格が高騰したため、10月に商品価格を見直し、値上げを実施した。また、原材料や包装資材等の価格情報を注視し、値上がり前に仕入れを行う等、経費節減に努めた。

利用者支援の状況は、可能な限り利用者を固定することで、作業への熟練度を上げ、安定的な作業となるよう努めた。

収入内訳(円)		前年比%
袋・パック・箱	5,791,709	103.3
生中華麺	12,789,295	103.2
じゃあじゃあ麺	2,596,668	110.5
スープ類	2,548,917	87.5
ギフト・その他	2,603,073	121.7
計	26,329,662	103.6

#### <食品製造事業>

年間売上は2,070千円となり、前年より373千円増の122%となった。

イラスト煎餅の注文が増えたことと、10月に菓子類の値上げを実施したことにより前年度を上回った。

利用者支援の状況は、菓子類の製造の他、受託作業との連携により作業を確保するよう努めた。

収入内訳(円)		前年比%
かりんとう	1,520,750	112.7
その他(イラスト煎餅・たい焼き等)	563,915	161.7
計	2,084,665	122.8

<販売事業>

年間売上は1,145千円となり、前年より108千円減の91.3%となった。

青の国ふだいの昆布製品を仕入れ、自社製品とともにギフト販売を行った。

また、みずき園の菓子類を仕入れ、県央の店舗へ供給した他、ギフトにおいてもあすリード本舗の営業網でカバーするなど連携して販売した。

収入内訳 (円)		前年 比%
ギフト	874,020	87.9
その他 (仕入れ商品 通常販売)	271,691	104.2
計	1,145,771	91.3

<受託事業>

年間売上は5,580千円となり、前年より1,003千円減の84.7%となった。

木炭の袋詰め作業は、供給元で炭製造が出来ない期間があり前年度を少し下回る結果となった。

のだ塩調整作業 (異物除去等) は、(株) のだむらの、のだ塩減産に伴い受託作業量が減り、前年対比74.2%と大巾に減収した。

また、年間を通じておおのミルク工房のアイスカップ等のシール貼作業に対応した。その他として、わかめの袋詰め、ドレッシングの製造、山ぶどうの房取り作業も行った。

収入内訳 (円)		前年 比%
のだ塩調整作業	2,680,481	74.2
炭袋詰め作業	2,333,900	95.5
その他 (シール貼等)	566,318	107.2
計	5,580,699	84.7

## 7 主要行事

月	日	行事等	場所	参加者等
5	18	自主避難訓練	園庭	利用者・職員
5	21	野外昼食会(レクリエーション行事)	園庭	利用者・職員
10	19	総合防災訓練 (消火訓練含む)	園庭	利用者・職員
10	26	食事会	施設内	利用者・職員
12	7	忘年会	施設内	利用者・職員
12	23	クリスマス会	施設内	利用者・職員
2	10	利用者健康診断	みずき園	利用者
3	29	慰労食事会	施設内	利用者・職員
毎月1回		手話講習会	施設内	利用者・職員

\*毎月20日は工賃支給日、体重・血圧測定

## 8 会議の状況

実施日	会議名	参加職種	内容
毎月1回	職員会議	全職員	施設業務、行事予定について
毎月1回	授産会議	全職員	授産業務全般について
毎月1回	支援会議	全職員	利用者の個別支援について
毎月1回	運営会議	施設長、副施設長 課長、係長	法人内全事業所の運営について

## 9 職員研修の状況

### (1) 施設外研修

実施日	研修名	開催者	場所	参加 職種	参加 人数	研修内容
10/19	令和4年度 介護・福祉 事業者等集 団指導	県北広 域振興 局	オンラ イン	サービス管理責任者	1名	実施指導について 感染症対策について 栄養指導について
10/28	令和4年度 発達障がい 基礎研修会	岩手県 発達障 害者支 援セン ター	オンラ イン	施設長 副施設長 目標工賃達成指導員 生活支援員 職業指導員 事務員	9名	発達障害の理解 発達障害の特性の ある方への対応
2/3	令和4年度 サービス管 理責任者更 新研修	岩手県 保健福 祉部	ふれあ いラン ド岩手	サービス管理責任者	1名	サービス提供の自 己検証に関する演 習

令和4年度

チャレンジドセンター久慈事業報告

## ①雇用安定等事業

### 1. 総括

過去2年間は事業継続要件を満たせず事業改善計画の対象センターとなっていたが、今年度から卒業年度の支援学校の生徒が支援対象者となったことから、久慈拓陽支援学校高等部と連携をとり、早い段階で事業継続要件を達成することができた。

また、コロナ禍ではあったが感染防止対策に努めながら職場説明会や事業所対象研修会を開催したことで新規就職に結びつけることもできた。

### 2. 事業概要

事業種別： 障害者就業・生活支援センター事業（雇用安定等事業）

職員体制： 主任就業支援ワーカー1名、就業支援ワーカー2名

支援対象： 久慈圏域（1市1町2村）

地域： 久慈市、洋野町、野田村、普代村

（久慈圏域管轄外の市町村 八戸市、軽米町、葛巻町等）

営業時間： 月曜日から金曜日までの午前8時15分から午後5時15分。

ただし、祝日、年末年始（12月30日から翌年1月3日まで） その他、あらかじめ指定した日を除く。

### 3. 事業の実施内容

#### (1) 企業開拓

○電話での実習依頼や企業訪問をし、実習先の開拓及び職場実習のあっせんを行った。

○就労希望者及び企業ニーズを的確に把握し、適切なジョブマッチングを行った。

○企業を対象に障がい者雇用に関する啓発活動を行った。

#### (2) 相談（職業生活に関すること・職場定着支援）

○就労を希望している障がいのある方等を対象に相談を行った。

○ケアマネジメントの手法に基づき、就労や職場実習を行った。

#### (3) 障害者雇用企業・事業所支援

○就職を希望する方の能力、特性に関する情報提供を行った。

○職業生活に課題が生じた場合の相談・支援を行った。

○スキルアップを目的とした研修会を開催した。

◆事業所対象研修会（障がい者就労支援ネットワークの事業として実施）

#### 第1回

日時：令和4年5月27日（金）13：30～16：30

場所：ロイヤルパークカワサキ

参加者：企業10社：12名 構成員：18名 講師：2名 計32名

#### 講演

『障害者雇用事業所による取り組み紹介』

講師：株式会社 薬王堂

人事部 藤原 聡志 氏

（令和3年度障がい者雇用優良事業所 岩手県知事表彰受賞）

#### 講演

『障がい者と企業双方の支援の視点の必要性』

講師：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構岩手支部

岩手障害者職業センター

上席障害者職業カウンセラー 鈴木 和典 氏	
第2回	
日 時	令和4年11月4日(金) 13:30～16:30
場 所	久慈グランドホテル
参加者	企業9社:11名 構成員:22名 講師:3名(構成員1名再計) 計35名
研修内容	行政説明 『地域における障害者雇用の現状』 講師:久慈公共職業安定所 上席職業指導官 中六角 久則 氏
講演	『岩手県特別支援学校技能認定会及び岩手県立久慈拓陽支援学校現場 実習の紹介』 講師:岩手県立久慈拓陽支援学校 進路指導主事 荒井 貴宏 氏
講演	『企業における障害者雇用管理サポーターの役割と実際』 講師:独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構岩手支部 岩手障害者職業センター 上席障害者職業カウンセラー 鈴木 和典 氏
講演	『障がい者の採用面接時の視点と定着支援の実例』 講師:有限会社ホームセンター仙台 取締役社長 米内 松司 氏

#### (4) 関係機関との連携

○関係機関との連携強化を図り、一体的かつ総合的な支援体制(チーム支援)の構築を図った。

#### ◆ネットワーク会議(障がい者就労支援ネットワークの事業として実施)

第1回	令和4年5月12日(木) 出席者数:24名
	<b>報告</b>
	(1) 久慈地域障害者自立支援協議会について (2) 久慈地区障がい者就労支援ネットワークについて (3) 令和4年度久慈地区障がい者就労支援ネットワーク事業計画について (4) 会員企業一覧について
	<b>議事</b>
	(1) 令和3年度久慈地区障がい者就労支援ネットワーク取組状況報告の承認について (2) 令和4年度第1回事業所対象研修会について (3) 令和4年度第1回在職者交流会について
第2回	令和4年6月23日(木) 出席者数:24名
	<b>報告</b>
	(1) 第1回事業所対象研修会について (2) 第1回在職者交流会について

	<p><b>議事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 第2回在職者交流会について</li> <li>(2) 第3回在職者交流会について</li> <li>(3) 第1回久慈地域職場説明会について</li> <li>(4) 障がい者雇用アンケート</li> </ul>
第3回	<p>令和4年8月4日(木) 出席者数：21名</p> <p><b>報告</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 第2回在職者交流会について</li> </ul> <p><b>議事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 第3回在職者交流会について</li> <li>(2) 第1回久慈地域職場説明会について</li> <li>(3) 障がい者雇用アンケートについて</li> <li>(4) 第4回在職者交流会について</li> <li>(5) 第2回事業所対象研修会について</li> <li>(6) 第2回久慈地域職場説明会in拓陽支援学校について</li> <li>(7) 久慈管内就労継続支援事業所合同説明会について</li> </ul>
第4回	<p>令和4年10月27日(木) 出席者数：26名</p> <p><b>報告</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 第3回在職者交流会について</li> <li>(2) 第1回久慈地域職場説明会について</li> </ul> <p><b>議事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 第4回在職者交流会について</li> <li>(2) 第2回事業所対象研修会について</li> <li>(3) 久慈地域職場説明会in拓陽支援学校について</li> <li>(4) 久慈管内就労継続支援事業所合同説明会について</li> <li>(5) 第5回在職者交流会について</li> </ul>
第5回	<p>令和5年1月26日(木) 出席者数：20名</p> <p><b>報告</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 第2回事業所対象研修会について</li> <li>(2) 第4回在職者交流会について</li> <li>(3) 久慈地域職場説明会in拓陽支援学校について</li> <li>(4) 久慈管内就労継続支援事業合同説明会について</li> <li>(5) 障がい者雇用アンケート集計結果について</li> </ul> <p><b>議事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 第5回在職者交流会について</li> <li>(2) 令和5年度就労支援ネットワーク事業計画(案)について</li> </ul>
第6回	<p>令和5年3月16日(木) 出席者数：20名</p> <p><b>報告</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 会員企業について</li> </ul> <p><b>議事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和5年度就労支援ネットワーク事業計画(案)について</li> <li>(2) 令和5年度第1回事業所対象研修会について</li> </ul>



(3) 令和5年度第1回在職者交流会について

(5) 職場説明会の開催

○障がい者と事業所のマッチングと相互理解を目的とした説明会を開催した。

◆職場説明会（障がい者就労支援ネットワークの事業として実施）

第1回 久慈地域障がい者職場説明会 日 時：令和4年10月7日（金）13：30～16：30 場 所：久慈グランドホテル 参加者：企業10社：14名 障がい者等：17名 構成員：18名 来賓：2名 もりおか若者サポートセンターステーション：1名 計52名
第2回 久慈地域障がい者職場説明会in久慈拓陽支援学校 日 時：令和4年11月24日（木）13：00～15：00 場 所：岩手県立久慈拓陽支援学校 体育館 参加者：企業：9社：10名 久慈拓陽支援学校生徒：21名 教員：8名 保護者：4名 構成員：10名 計53名

(6) 交流会・勉強会の開催

○障がいのある方等に対して、情報交換・勉強会等のサポートを行った。

◆在職者交流会（障がい者就労支援ネットワークの事業として実施）

第1回 令和4年6月9日（木）「私たちの働き方改革」 参加者数：在職者…6名（知的…4名、精神…1名、発達…1名） 構成員…16名 講師…1名 計23名
第2回 令和4年7月14日（木）「暑さを吹き飛ばせ！仕事中の熱中症対策」 参加者数：在職者…3名（知的…2名、精神…1名） 構成員…7名 計10名
第3回 令和4年10月13日（木）「生活習慣病について知ろう」 参加者数：在職者…1名（身体…1名） 構成員…14名 講師…1名（他1名） 計17名
第4回 令和4年12月4日（土）「オンオフの切り替え」 参加者数：在職者…6名（身体…1名、知的…3名、精神…1名、 発達…1名） 構成員…7名 手話通訳者…2名 計15名

(7) 本人会開催のサポート

○障がいのある方等の会合で、情報提供等必要に応じてサポートを行った。

(8) 生活困窮者のうち障がい者が窺われる者への就労促進と職場定着

○障がい者が窺われる者との面談や支援プラン策定の場への同席をした。

○受け入れ企業への助言や訓練への同行を行った。

4. 事業継続に係る実績

(1) 就 業… 15名

(2) 実 習… 25名

## 5. 業務体制の充実と職員の資質向上

下記の研修に参加し専門知識、技術の習得に励み、資質向上に努めた。

### (1) 施設内研修

実施日	研修名	講師	参加職種	参加人数	研修内容
11月30日	復命研修 模擬事例検討会	研修参加職員	主任就業支援 ワーカー 就業支援ワーカー	3名	模擬事例を用いたのケース検討会
1月4日	インボイス制度 について 地域生活拠点事業 について	担当職員  担当職員	主任就業支援 ワーカー 就業支援ワーカー	3名	制度及び事業内容についての説明会

### (2) 施設外研修

実施日	研修名	開催者	場 所	参加職種	参加人数	研修内容
4月21日	岩手県障害者・生活支援センター連絡協議会研修会	岩手県障害者・生活支援センター連絡協議会	ZOO M開催	主任就業支援ワーカー 就業支援ワーカー	3名	講演 「グッドウッドプロジェクト」 林業×福祉の可能性
10月17日	令和4年度障害者就業・生活支援センター東北・北海道ブロック経験交流会議	厚生労働省 山形労働局	ZOO M開催	主任就業支援ワーカー	1名	講演 「障害が目立たなくなった人はかえって就労が難しくなるというパラドックス」 好事例発表
11月22日	宮古圏域チャレンジドフォーラム	宮古圏域障がい者自立支援協議会	宮古市 休暇村 陸中宮古	主任就業支援ワーカー 就業支援ワーカー	2名	講演 「多様な働き方～気仙圏域の取組～」 パネルディスカッション 「宮古圏域のこれからと課題」
2月16日	岩手県障害者・生活支援センター連絡協議会第2回研修会	岩手県障害者・生活支援センター連絡協議会	ZOO M開催	主任就業支援ワーカー 就業支援ワーカー	3名	講演 「生活困窮者への支援に係る関係機関との連携について」

## ②生活支援等事業

### 1. 総括

コロナ禍であったが、特別な支援が必要となることはなく、基本的な職業生活上における支援を中心に行った。一般就労されている方は日常生活も概ね自立されており、生活支援の頻度は少なかったが、一人暮らしなどの将来的ニーズへの対応が今後必要と思われる。

### 2. 事業種別 : 障害者就業・生活支援センター事業 (生活支援等事業)

職員体制 : 生活支援ワーカー1名

支援対象 : 久慈圏域 (1市1町2村)

地域 : 久慈市、洋野町、野田村、普代村

(久慈圏域管轄外の市町村 八戸市、軽米町、葛巻町等)

営業時間 : 月曜日から金曜日までの午前8時15分から午後5時15分。

ただし、祝日、年末年始 (12月30日から翌年1月3日まで) その他、あらかじめ指定した日を除く。

### 3. 事業の実施内容

#### (1) 地域生活支援

○福祉施設やサービス事業所の紹介や見学同行などを行った。

○福祉制度を有効に利用できるよう、情報の提供や手続き等の支援同行を行った。

○職場への通勤支援や病院への通院同行を行った。

○余暇活動の支援や情報提供を行った。

○上記を踏まえ、相談支援事業所と連携しながら支援を行った。

#### (2) 職業生活を高める支援

○職場で抱える悩みの相談にのり、仲間づくりや本人らが話し合える場の提供に努めた。

○日常生活を送るうえで本人に必要な勉強会を開催した。

#### ◆在職者交流会 (障がい者就労支援ネットワークの事業として実施)

第1回	令和4年6月9日(木)「私たちの働き方改革」 参加者数：在職者…6名(知的…4名、精神…1名、発達…1名) 構成員…16名 講師…1名 計23名
第2回	令和4年7月14日(木)「暑さを吹き飛ばせ！仕事中の熱中症対策」 参加者数：在職者…3名(知的…2名、精神…1名) 構成員…7名 計10名
第3回	令和4年10月13日(木)「生活習慣病について知ろう」 参加者数：在職者…1名(身体…1名) 構成員…14名 講師…1名(他1名) 計17名
第4回	令和4年12月4日(土)「オンオフの切り替え」 参加者数：在職者…6名(身体…1名、知的…3名、精神…1名、 発達…1名) 構成員…7名 手話通訳者…2名 計15名

(3) 職場定着支援

- 企業での人間関係の調整を行う。
- 家庭訪問や定期的な面談を行い、家族を含めた就労後のフォローアップを行った。
- 事業主に対する障害特性の相談や職場定着における支援を行った。
- 健康管理や金銭管理等、社会生活に必要な助言を行った。

(4) 関係機関との連携

- 学校、福祉、医療機関等、各関係機関との連携を図り、地域の中で本人の生活を支える仕組み作りに努めた。また、本事業の理解を促進するため、ネットワーク構築を図った。

4. 業務体制の充実と職員の資質向上

下記の研修に参加し専門知識、技術の習得に励み、資質向上に努めた。

(1) 施設内研修

実施日	研修名	講師	参加職種	参加人数	研修内容
11月30日	復命研修 模擬事例検討会	研修参加職員	生活支援ワーカー	1名	模擬事例を用いたのケース検討会
1月4日	インボイス制度について 地域生活拠点事業について	担当職員 担当職員	生活支援ワーカー	1名	制度及び事業内容についての説明会

(2) 施設外研修

実施日	研修名	開催者	場 所	参加職種	参加人数	研修内容
6月16日	令和4年度第1回久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡会	岩手県久慈保健所	ZOOM開催	生活支援ワーカー	1名	講和 「久慈地域の自殺の現状と自殺対策の取組について学ぼう」
7月21日	令和4年度第2回久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡会	岩手県久慈保健所	ZOOM開催	生活支援ワーカー	1名	講和 「支援者のセルフケアと感染対策」
8月18日	令和4年度第3回久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡会	岩手県久慈保健所	ZOOM開催	生活支援ワーカー	1名	活動報告 等

### ③相談支援事業

#### 1. 総括

今年度も一般相談よりも計画相談での支援が多かった。計画相談においては、管内の事業所が増えたことから、利用者も増えている。そのうえ、制度改正により、利用するサービスによってはモニタリング回数が増え、相談支援専門員が一人で行うには厳しい状況が続いている。

また、利用者が在宅ワークを希望し、ネットを使った県外の事業所を利用するケースも増え、多様なニーズへの対応が必要となっている。

#### 2. 事業概要

事業種別 : 特定・児童相談支援事業、一般相談支援事業

職員体制 : 相談支援専門員1名、事務員1名

支援対象 久慈圏域（1市1町2村）

地域 : 久慈市、洋野町、野田村、普代村  
（その他の地域に関しては、必要性に応じて検討する）

営業時間 : 月曜日から金曜日までの午前8時15分から午後5時15分。

ただし、祝日、年末年始（12月30日から翌年1月3日まで） その他、あらかじめ指定した日を除く。

#### 3. 事業の実施内容

##### （1）相談、福祉サービスの利用援助（情報提供、相談、手続き、計画作成等）

○日常生活全般に関する相談に応じるとともに、サービスの提供方法を理解しやすいよう説明を行った。また、サービス等利用計画の作成についても必要に応じて実施した。

##### （2）社会資源を活用するための支援（各種支援施策に関する助言・指導等）

○各種支援施策に関する助言を行い、生活していくうえで社会資源を有効に活用するとともに、既存の社会資源をつなぎ合わせることに努めた。

##### （3）社会生活力を高めるための支援

○社会生活上における助言や支援を行い、社会生活力の確保・向上に努めた。

##### （4）権利擁護のために必要な支援

○契約等の判断をすることが不安な方、日常生活に不安を抱えている方などに対して、自立した地域生活が安定して送れるように福祉サービスや成年後見人制度等の利用援助を促した。

##### （5）関係機関との連携、ネットワーク構築

○行政、福祉、医療、教育等の関係機関と連携を図るとともに、必要な専門機関の紹介を行った。

また、関係機関とのネットワークを構築し、地域生活を支えるシステム作りに努めた。

#### ◆就労継続支援事業所合同説明会（障がい者就労支援ネットワークの事業として実施）

日時：令和4年11月25日（金）13：00～15：00

場所：岩手県久慈拓陽支援学校 体育館

参加者：説明事業所8事業所：12名 久慈拓陽支援学校生徒：31名

教員：8名 保護者：3名 構成員：11名 計65名

(6) 就労支援分科会の運営

○行政機関、サービス提供事業者等の関係者が福祉、就労、保健医療、教育等のサービスを総合的に調整し、障がいの有無に関わらず、安心して暮らせる地域づくりに努めた。

◆就労分科会

第1回	令和4年5月12日(木)	出席者数: 24名
	<b>報告</b>	
		(1) 久慈地域障害者自立支援協議会について (2) 久慈地区障がい者就労支援ネットワークについて (3) 令和4年度久慈地区障がい者就労支援ネットワーク事業計画について (4) 会員企業一覧について
	<b>議事</b>	
		(1) 令和3年度久慈地区障がい者就労支援ネットワーク取組状況報告の承認について (2) 令和4年度第1回事業所対象研修会について (3) 令和4年度第1回在職者交流会について
第2回	令和4年6月23日(木)	出席者数: 24名
	<b>報告</b>	
		(1) 第1回事業所対象研修会について (2) 第1回在職者交流会について
	<b>議事</b>	
		(1) 第2回在職者交流会について (2) 第3回在職者交流会について (3) 第1回久慈地域職場説明会について (4) 障がい者雇用アンケート
第3回	令和4年8月4日(木)	出席者数: 21名
	<b>報告</b>	
		(1) 第2回在職者交流会について
	<b>議事</b>	
		(1) 第3回在職者交流会について (2) 第1回久慈地域職場説明会について (3) 障がい者雇用アンケートについて (4) 第4回在職者交流会について (5) 第2回事業所対象研修会について (6) 第2回久慈地域職場説明会in拓陽支援学校について (7) 久慈管内就労継続支援事業所合同説明会について
第4回	令和4年10月27日(木)	出席者数: 26名
	<b>報告</b>	
		(1) 第3回在職者交流会について (2) 第1回久慈地域職場説明会について
	<b>議事</b>	
		(1) 第4回在職者交流会について (2) 第2回事業所対象研修会について

	(3) 久慈地域職場説明会in拓陽支援学校について (4) 久慈管内就労継続支援事業所合同説明会について (5) 第5回在職者交流会について
第5回	令和5年1月26日(木) 出席者数: 20名 <u>報告</u> (1) 第2回事業所対象研修会について (2) 第4回在職者交流会について (3) 久慈地域職場説明会in拓陽支援学校について (4) 久慈管内就労継続支援事業所合同説明会について (5) 障がい者雇用アンケート集計結果について <u>議事</u> (1) 第5回在職者交流会について (2) 令和5年度就労支援ネットワーク事業計画(案)について
第6回	令和5年3月16日(木) 出席者数: 20名 <u>報告</u> (1) 会員企業について <u>議事</u> (1) 令和5年度就労支援ネットワーク事業計画(案)について (2) 令和5年度第1回事業所対象研修会について (3) 令和5年度第1回在職者交流会について

#### 4. 業務体制の充実と職員の資質向上

下記の研修に参加し専門知識、技術の習得に励み、資質向上に努めた。

##### (1) 施設内研修

実施日	研修名	講師	参加職種	参加人数	研修内容
11月30日	復命研修 模擬事例検討会	研修参加職員	相談支援専門 員 事務員	2名	模擬事例を用い てのケース検討 会
1月4日	インボイス制度 について 地域生活拠点事 業について	担当職員  担当職員	相談支援専門 員 事務員	2名	制度及び事業内 容についての説 明会

##### (2) 施設外研修

実施日	研修名	開催者	場 所	参加職種	参加人数	研修内容
6月16日	令和4年度第 1回久慈地域 メンタルヘ ルス・サポー トネットワ ーク連絡会	岩手県久慈 保健所	ZOO M開催	相談支援 専門員	1名	講話 「久慈地域の自 殺の現状と自殺 対策の取組につ いて学ぼう」
7月21日	令和4年度第 2回久慈地域	岩手県久慈 保健所	ZOO M開催	相談支援 専門員	1名	講話 「支援者のセル

	メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡会					フケアと感染対策」
8月18日	令和4年度第3回久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡会	岩手県久慈保健所	ZOOM開催	相談支援専門員	1名	活動報告 等
9月15日	令和4年度第4回久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡会	岩手県久慈保健所	ZOOM開催	相談支援専門員	1名	被災地におけるメンタルヘルスについて活動報告 等
10月20日	令和4年度第5回久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡会	岩手県久慈保健所	ZOOM開催	相談支援専門員 事務員	2名	洋野町における引きこもり支援について活動報告 等
11月17日	令和4年度第6回久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡会	岩手県久慈保健所	ZOOM開催	相談支援専門員 事務員	2名	講話 「自殺のリスクアセスメント」
12月15日	令和4年度第7回久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡会	岩手県久慈保健所	ZOOM開催	相談支援専門員 事務員	2名	講話 「働き世代の支援とうについて」
12月16日	令和4年度障がい者相談支援従事者現任研修	岩手県社会福祉士会	盛岡市ふれあいランド岩手	相談支援専門員	1名	更新研修 演習
1月19日	令和4年度第7回久慈地域メンタルヘルス・サポー	岩手県久慈保健所	ZOOM開催	相談支援専門員	1名	講話 「自殺対策の取組について」



	トネットワーク連絡会					
1月26日 ～27日	令和4年度障がい者相談支援従事者現任研修	岩手県社会福祉士会	盛岡市ふれあいランド岩手	相談支援専門員	1名	更新研修演習
2月16日	いきる支援セミナー	岩手県久慈保健所	ZOOM開催	相談支援専門員 事務員	2名	コロナ禍における久慈地域の自殺対策について活動報告